

第4回東京労災病院 糖尿病看護セミナー

日本糖尿病療養指導士認定機構が認定する「糖尿病療養指導研修単位」が取得できます（申請中）。

日時 2013年11月10日(日)
9:30~17:00
(受付開始 8:50~)

会場 (株)ホギメディカル4F 会議室
※詳細は裏面をご確認ください。

対象 看護師、研修医、臨床検査技師
他医療関係者

受講料 12,000円(税込)
※テキスト代含む・昼食付

糖尿病は増加の一途をたどり、厚生労働省の「2011年国民健康・栄養調査報告」によると、糖尿病が強く疑われる人や可能性を否定できない「予備群」があわせて27.1%と推計され、成人の4人に1人以上が糖尿病かその予備群であることが明らかになりました。合併症も深刻ですが、さらに深刻な事態は、2型糖尿病患者では非糖尿病患者に比べて認知機能が有意に低下しており、糖尿病境界領域者、糖尿病患者を含む耐糖能異常群では、アルツハイマー病の発症率は耐糖能正常群に比較して3倍であり、糖尿病と認知症に相関がみられることです。日本では超高齢化社会が加速し、今後ますます糖尿病と認知症を伴った高齢者があふれることが予想されます。

今回で4回目を迎える糖尿病看護セミナーはNTT東日本関東病院 糖尿病・内分泌内科部長 林道夫先生を中心とした従来の講師陣に加え、東芝病院の代謝内分泌内科 部長 大杉満先生に参加していただき、認知症と糖尿病の関係にも鋭く迫ります。

また、糖尿病の病態、合併症について短時間で理解できるプログラムを組み、薬物治療についてはDPP-4阻害剤を中心に講義をしていくとともに、対応困難患者についてなど糖尿病看護認定看護師を中心に、テーブルディスカッションも取り入れました。

参加人数も50名と少なく設定し、質問のしやすい雰囲気を作っています。きっと、明日からの臨床の場ですぐに講義内容を生かすことができると思います。さらに本セミナーでは、糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位も取得できます（申請中）。

プログラム

①	9:30~10:30	糖尿病の病態生理 (60分)	桑原 公一郎	東京労災病院 糖尿病・内分泌内科 部長
		休憩 (10分)		
②	10:40~12:10	糖尿病の治療と合併症 (90分)	林 道夫	NTT 東日本関東病院 糖尿病・内分泌内科 部長
		昼食 (50分)		
③	13:00~14:00	糖尿病と認知症 (60分)	大杉 満	東芝病院 代謝内分泌内科 部長
④		認定看護師が 症例を提示! 糖尿病看護の現在の問題点		
	14:00~14:30	症例1. 外来インスリン導入 (30分)	菊原 伸子	東邦大学医療センター 大森病院 糖尿病看護認定看護師
	14:30~15:00	症例2. 糖尿病腎症と透析 (30分)	柏崎 純子	昭和大学病院附属東病院 糖尿病看護認定看護師
		休憩 (20分)		
	15:20~15:50	症例3. フットケア (30分)	岩塚 晶子	東京労災病院 糖尿病看護認定看護師
	15:50~16:20	症例4. 認知症を併発した糖尿病 (30分)	宗村 文江	東京急行電鉄(株)東急病院 糖尿病看護認定看護師
	16:20~17:00	Table Discussion (各症例に対する質疑応答) (40分)		

※やむを得ない事情により、会場・日程・講師・プログラムなどの変更がありました場合はご容赦ください。

主催：東京労災病院 看護セミナー